

第7回「かごしま活性化フォーラム」結果概要

日 時：令和6年2月15日（木）14：00～16：30

場 所：鹿児島第3地方合同庁舎4階 第1,2 共用会議室

テーマ：『中小企業におけるDXについて考える：その意義と課題』

1. 挨拶 鹿児島財務事務所長 橋本 祥也



2. 講演 14：05～14：20

「九州企業のDXの現状と政策動向」

九州経済産業局 デジタル経済室長 春口 浩子 氏



3. 講演 14:20~15:00

「中小企業のDX推進事例～デジタル技術を使ったビジネスモデル変革へ～」

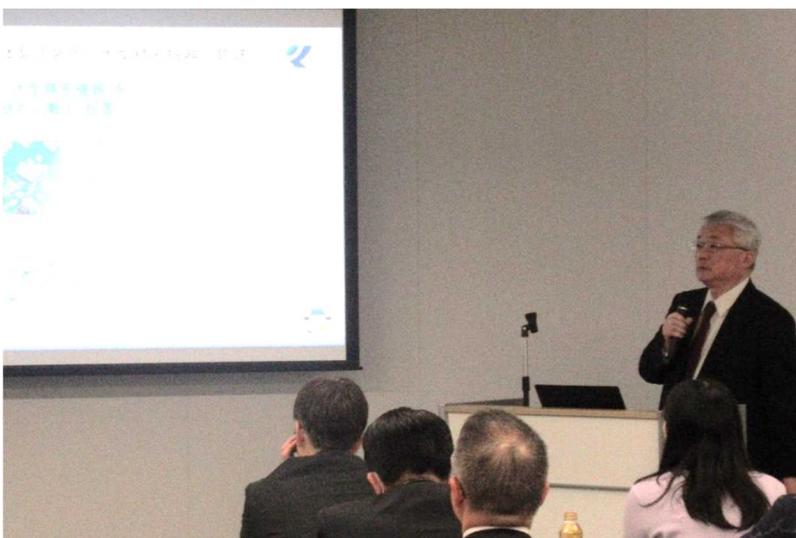
株式会社DX経営研究所 代表取締役 中尾 克代 氏



4. 講演 15:00~15:30

「ヒサノのDX戦略と新規事業への進出～経営者の自己変革の必要性～」

株式会社ヒサノ 代表取締役社長 久保 誠 氏



5. 講演 15:30~15:50

「地域DX推進における鹿児島銀行の取組み」

鹿児島銀行 経営企画部 デジタル戦略室長 濱田 豪 氏



6. 意見交換 16:00~16:30



意見交換概要（質疑応答）

Q. 企業の中には、ITに関する人材が不足している、資金がない、仮にDXを推進しても費用対効果も不明といった理由からDXを推進することが困難な先があると思われる。そういったDX推進の効果に疑問を持つ企業等にDXを推進するためには大胆な税制優遇措置等、思い切った政策が必要なのではないか。

→（登壇者1）

- ・費用対効果の見える化は非常に重要である。
- ・DX推進による効果等の事例をHP上に掲載しているので、その中から、近い業態の事例を参考にするとDX化のイメージが湧きやすいと思う。

→（登壇者2）

・当社では、DXを推進するにあたり、ものづくり補助金と事業再構築補助金を利用して、ITコーディネーターにコンサルティングしていただいた。経済産業省の補助金制度を上手く利用することが重要であると考えます。ある程度デジタル技術の理解が深まった後は、その知見を業務に活かしており、例えば、ランディングページやSNS広告等を使って運送業の求人を行っている。広告作成にあたっては、「スキルシフト（副業人材紹介サイト）」を活用して副業人材を雇い、安価にコンサルティングを受けている。

また、DX認定を受ける等のDX投資促進税制の要件を満たせば、税制による支援措置（30%特別償却等）を受けられるのもDX推進のメリットである。

Q. 自社でもITコーディネーター等の伴走型支援者の力を借りたいがどのように探せば良いか。

→（登壇者）

・DX推進について、どこに相談すれば良いか分からない人は多いが、まずは経済産業省や商工会議所にご相談いただきたい。現在経済産業省において中小企業等のDX支援の在り方について検討中であり、今後は銀行やベンダー等が連携しながら支援する形になっていくと思われる。

Q. GX への対応についてどのように考えているか。

→（登壇者 1）

・半導体業界ではアップルがトップカテゴリーで、非常に脱炭素への取組みも積極的であるため、その影響で何らかの取組みが求められると考えている。中小企業である我々の会社が、どれだけ GX 化に対応できるかについて今後検討する必要があると思う。

→（登壇者 2）

・やはりモノづくり企業は、GX を意識した取組みが必要となってくると考えている。しかしながら、目先の利益を優先した場合は、なかなかそこまで手が回らないと思われる。GX 推進のためには、DX 推進等により人や資源、エネルギーの省力化を徹底することが重要だと考える。